



令和6年2月1日発行  
第73号

# ながわまち 議会だより

■発行／長野県小県郡長和町議会 ■  
■編集／広報広聴常任委員会 ■

★「おたや祭の夜」豊受大神宮境内 ★  
(23ページに写真の説明を掲載しています。)

第2期「議会モニター」  
を募集します!!  
ご参加を待っています!!  
★第一回応募締切は2月15日(木)です。詳細は22ページをご覧ください。

## ●長和町議会 令和5年12月定例会

- ◇ 第5回臨時会 ■ 新議会構成 ○○○○ 2
- ◇ 常任委員会審査報告 ○○○○○○○○ 4
- ◇ 一般質問 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ 8
- ◇ 視察研修 ■ 懇談会報告 ○○○○○○ 17
- ◇ 広域議会 ■ 組合議会報告 ○○○○ 21
- ◇ 議会モニター会議 ○○○○○○○○○○ 22
- ◇ 第6回臨時会 ■ 議会概説 ○○○○ 23
- ◇ 長和町「あの人を訪ねて」 ○○○○ 24



# 臨時会

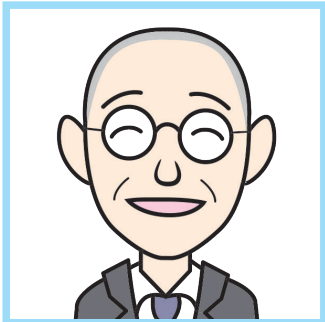
2年での  
任期で  
改選

## 議長に森田公明議員、 副議長に渡辺久人議員が再選されました。

### 議長就任挨拶 森田公明

議員諸氏のご推挙を頂き、議員任期後半の2年、議長を務めさせて頂きます。町民の皆様が安心して楽しく暮らせる長和町を目指して、地方議会の使命を十分果たせるよう懸命に取り組んで参ります。

前期は、議会モニター制度を整え、議会モニターの皆様とともに議会改革や町民の意見聴取に努め、議会のICT化に向けタブレットを導入、議会運営を見直してきました。また、町民と議会との懇談会を様々な形で開催し、町民に開かれた町民に見える議会運営に取り組みました。今後は、さらに広報広聴活動を充実して広く町民の皆様の見聞を聴く機会を設けるとともに、町の将来についてともに考え語り合う場を設けたいと考えています。



長和町に限らず日本は急速に少子高齢化が

進み、あらゆる部面において担い手不足が危惧されています。これまでも増して協働の取り組みが大切になってきます。議会においても、速やかに正確に情報共有を行い、十分な議論を通して政策に対する理解を深め、的確な提言と判断ができる議会をつくることが重要です。私たちが町民の皆様との共感を得られる議会運営を行うことで、多様な人の地方自治に参加したいという意志を喚起し、女性や若い世代の議員増にも繋がってほしいと考えます。皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

### 副議長就任挨拶 渡辺久人

令和2年からのコロナ禍において様々な活動が制限され住民の皆様との意見交換ができない中、議会だよりモニター・議会モニターを実施し、また、昨年11月には5年ぶりに町民の皆様との懇談会が開催できました。今後も継続して町民の皆様からのご意見を町に届けることが、議会の役割の一つと考えます。

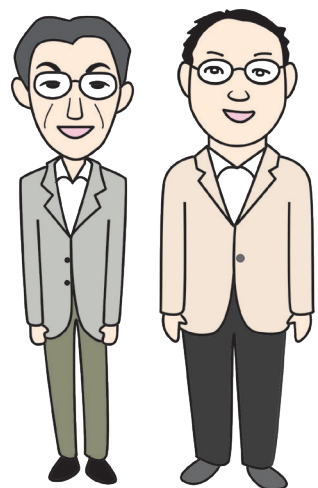
昨今、全国的に人口が減少しています。長和



町でも超少子化、超高齢化などにより、社会福祉、こどもの教育、就労場所、山林・農地の荒廃、鳥獣害など難しい問題が山積しています。長和町議会において

も、議員のなり手不足、高齢化が危惧されます。議会改革を行う中で、議員報酬や議会開催のあり方などを検討する必要があります。2年の任期中、議長を補佐し、議員全員で、より開かれた議会、さらなる町政の発展と町民の福祉の向上を目指した議会運営に努めてまいります。皆様の一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

### 委員会



佐藤恵一 委員長

荻野友一 副委員長

# 新議会構成

12月定例会から、広報常任委員会を「広報広聴常任委員会」に改正しました。

□ 議長

森田公明

□ 副議長

渡辺久人

■ 総務経済常任委員会 (5名)

委員長

佐藤恵一

副委員長

荻野友一

原田恵召

小川純夫

渡辺久人

所管 総務課、会計課、企画財政課、情報広報課、産業振興課、建設水道課、議事事務局の所管に関する事項の調査及び議案、請願・陳情等の審査

■ 社会文教常任委員会 (5名)

委員長

田福光規

副委員長

阿部由紀子

龍野一幸

羽田公夫

森田公明

所管 町民福祉課、こども・健康推進課、教育課の所管に関する事項の調査及び議案、請願・陳情等の審査

■ 広報広聴常任委員会 (5名)

委員長

羽田公夫

副委員長

龍野一幸

佐藤恵一

田福光規

渡辺久人

所管 議会広報広聴活動に関する事項

■ 議会運営委員会 (5名)

委員長

原田恵召

副委員長

渡辺久人

佐藤恵一

田福光規

羽田公夫

所掌 議会の運営、議会議規則、委員会条例、議長の諮問に関する事項等の審査

■ 議会選出監査委員 (1名)

小川純夫

## 一部事務組合議会

■ 依田窪医療福祉事務組合議会 (6名)

議長

森田公明

阿部由紀子

龍野一幸

羽田公夫

渡辺久人

監査委員

田福光規

■ 上田市長和町中学校組合議会 (4名)

副議長

田福光規

阿部由紀子

龍野一幸

羽田公夫

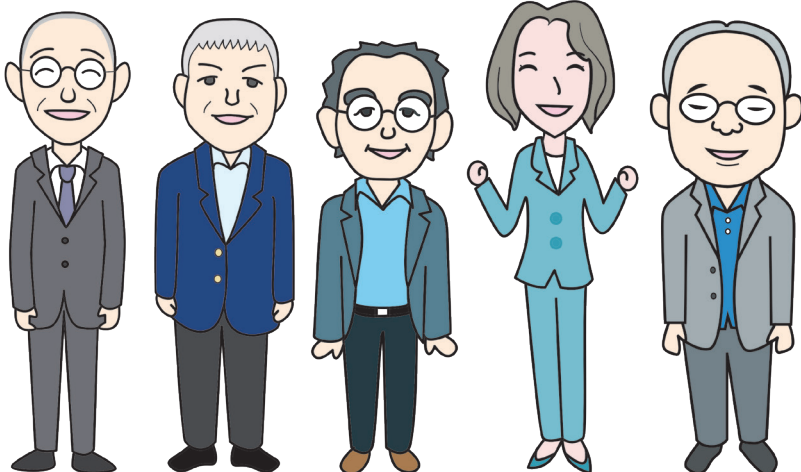
■ 上田地域広域連合議会 (2名)

森田公明

渡辺久人

## 社会文教常任委員会

## 総務経済常任



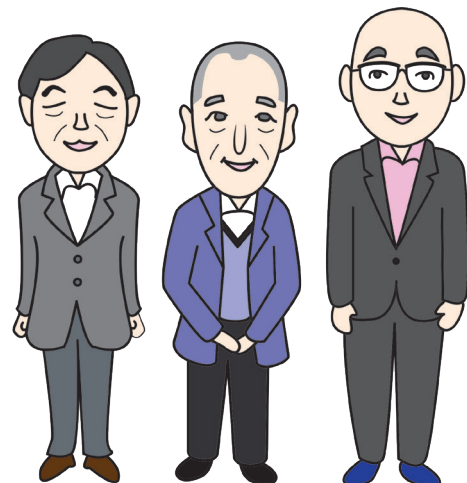
森田公明 委員

羽田公夫 委員

龍野一幸 委員

阿部由紀子 副委員長

田福光規 委員長



渡辺久人 委員

小川純夫 委員

原田恵召 委員

817万3千円

総務課  
地域公共交通計画策  
定業務委託料

令和5年度長和町一般会計補正予算(第8号)について  
既定の予算総額に7860万7千円を追加する。



佐藤恵一 委員長

委員長／佐藤 恵一  
副委員長／荻野 友一  
委員／原田 恵召  
小川 純夫  
渡辺 久人

## 総務経済常任委員会

# 12月議会

長和町議会令和5年第4回定例会が、12月1日(金)から14日(木)までの14日の会期で開かれ、報告6件、発委1件、条例案5件、補正予算案5件、人事案2件について審議を行い、すべての議案が全員賛成で、可決・同意されました。また、8人の議員が一般質問を行いました。審議結果は議会ホームページに掲載しましたので、下記QRコードからご覧下さい。



**問** デマンド交通のシステムの導入はJRが行うものと思うが、そのシステムの内容は。

**答** 巡回バスからデマンド交通への移行に対する補助金なので、1回でなく

**問** 委託料800万円余は安い金額ではない。補助金とのバランスはどうか。それ以上の効果はあるか。

**答** 車両の購入やデマンド交通に移行するための費用などが対象となると聞いている。

**問** この計画は、補助金を得るために必要な計画だと思うが、補助金はどのくらいもらえるのか。

**答** システムに使うAI導入、初期データの作成、申し込みを受けるコールセンターのパソコンなどがある。

**問** デマンド交通ありきで話が進んでいる感じがする。住民が置き去りになっていないか。

**答** 令和2年に大型バスからワゴン車に変更し、数年行ったが利用者が増えない。同じ経費ならデマンド交通がよいのではという結論になった。公共交通審議会で数年にかけて検討した結果である。

継続して得られると考える。車両の購入等も対象となるので、800万円以上の効果がある。

35万円

個別避難計画策定業務委託料

**問** 個別避難計画の策定が1件7千円で500件とあるが、これをいつまでに作成するのか。

**答** 今年度1月～3月で50件を計画しており、来年度以降も順次作成していく予定である。

**問** 内容の更新はどのように行っていくか。その調査も事業者が行うのか。

**答** 更新については、変更書類をその都度役場へ提



デマンド交通に使われる「ながわこん」



**問** 12月に切替予定であったが、諸事情により事務が遅れている。そのため、ライセンスの期限が12月までであり、ライセンスを1年、その他の委託料は、3月まで継続させるための補正である。

**答** 12月に役場のシステムを切り替える予定であったが、諸事情により事務が遅れている。そのため、ライセンスの期限が12月までであり、ライセンスを1年、その他の委託料は、3月まで継続させるための補正である。

69万6千円

**情報広報課**

**情報管理一般経費**

システム保守委託料146万9千円。情報セキュリティ関係業務委託176万円減

**問** 情報セキュリティ関係業務委託が減額となったのは、なぜか。

**答** 職員のセキュリティ研修や監査での委託費である。業務委託は総務課で行うため減となった。

**問** 保守委託料の増額の理由は。

**答** 12月に役場のシステムを切り替える予定であったが、諸事情により事務が遅れている。そのため、ライセンスの期限が12月までであり、ライセンスを1年、その他の委託料は、3月まで継続させるための補正である。

1212万6千円

**産業振興課**

**農業振興費**

**獣害防止柵資材費**

**問** 職員の仕事により業務量が増えたため、仕様書作成等に時間がかかり、切替が遅れている。また、ウクライナ情勢等で機材の確保も不明で、今後、諸般の事情を勘案しながら事業を進めていく。

**答** 職員の仕事により業務量が増えたため、仕様書作成等に時間がかかり、切替が遅れている。また、ウクライナ情勢等で機材の確保も不明で、今後、諸般の事情を勘案しながら事業を進めていく。

**問** 獣害防止柵資材費は、鳥獣被害防止総合対策整備交付金で全額補助ということだが、すべて長門牧場の獣害柵に使われるのか。また、在庫はあるのか。

**答** 設置箇所は長門牧場の草地部分で、すべて国庫補助で対応する。来年度以降は、牧場の北側のエリアも含まれる。別に町単事業で、補修用に今年

度55万円、獣害柵約200m分の資材を購入している。在庫資材は少なくなっている。



農地の周りに張られている「獣害防止柵」

**問** 牧場の獣害柵は、後どのくらいの距離を設置する予定か。

**答** 長門牧場の獣害柵設置は3年計画で、現在2年目。計画では、1、2年目でレストハウスと牛舎一帯の草地、最終年で残り、雨境の下のダツタンそばや丸山青果の圃場

198万3千円減

**林業振興費**  
**林業振興一般経費委託料**

の北側のエリアを行い、総延長15kmとなる。

**問** 松くい虫被害が増えていく状況で、委託料が減額となっているのはなぜか、また、処理は間に合っているのか。

**答** 多く発生することを想定して計上した。さらに、追加の要望をしたが認められなかったため、内示

和田中学校体育館裏の土地に関する委託料150万円の内容は。

150万円

**建設水道課**

**土木管理経費**

**財産管理に伴う委託料**

額に合わせ減額した。伐倒燻蒸処理では間に合わない区域が出ており、その区域は樹種転換に切り替えていく。

**問** 和田中学校体育館裏の土地に関する委託料150万円の内容は。

**答** 体育館裏の奥に、町と土地交換した人の土地があり、そこに行くための道路を分筆するための測量費である。

322万5千円

**土木維持費**

**道路橋梁維持管理経費**

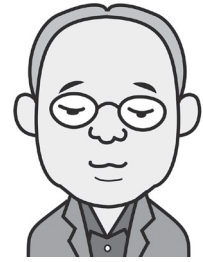
**問** 松尾橋の工事の発注時期と契約方法を。

**答** 年末までにどうしても補修する必要がある、今ある予算で一部先行して工事を行っている。契約方法は随意契約である。

(抜粋)



# 社会文教常任委員会



田福光規 委員長

委員長／田福光規  
副委員長／阿部由紀子  
委員／龍野一幸  
羽田公夫  
森田公明

社会文教常任委員会は12月8日(金)に委員会を開催。付託された条例案、令和5年度一般会計補正予算案、特別会計補正予算案3件について審査し、すべての議案が全員賛成で可決すべきものと決定しました。

長和町国民健康保険条例の一部を改正する条例  
国民健康保険法の改正に伴い、国民健康保険に加入している出産被保険者の基礎課税額を減額する

**問** 4月から6月の間に産前産後期間が重なった場合の免除方法は。

**答** 年間の国保税の算定総額から4か月分、多胎の場合は6か月分の保険税を月割りで減額する。年間の国保税から産前産後期間の保険税免除額を差し引いたうえで、9期に分けて賦課される。



汚泥再生処理センター(立岩)

令和5年度長和町一般会計補正予算(第8号)について既定の予算総額に7860万7千円を追加する。

## 町民福祉課

### 障がい者支援事業

5万円  
通所通園等推進事業

**問** 通所通園等推進事業の対象人数と通所頻度は。

**答** 今年度の補助対象者は1名で、週5回の通所である。

### 児童福祉給付費

500万円  
障がい児通所支援費

**問** 障がい児通所支援において、サービス利用者は何名か。

**答** 毎月16〜17名ほどの利用実績がある。

### 防犯対策一般経費

23万6千円  
防犯灯修繕費

**問** 防犯灯の支柱の交換を行うと、修繕費用はどのくらい掛かるのか。

**答** 1基あたり、9万9千円必要である。

### 交通安全対策一般経費

5万5千円  
交通安全施設設置工事

**問** 修繕が必要なカーブミラーの反射鏡は、どのように破損しているのか。

**答** 2基のうち、鏡面交換する反射鏡は、鏡面が白く曇ってしまっている。他方は、共架されている建物自体が老朽化しているため、隣接する場所に建て直しを行うもの。

**問** カーブミラーは、設置されてからのどのくらいの期間で使用できなくなる

ものか。

**答** 反射鏡の耐用年数は10年前後であるが、設置されている場所や車両の交通量により、劣化の程度は変わってくる。鏡面交換を行う前に、鏡面の曇りが落ちるかどうかが確認は行っている。

### 汚泥再生処理施設運営経費施設改修工事

68万9千円

**問** 汚泥再生処理センター制御機器交換工事について、修繕が2つあるが、それぞれの金額は。

**答** 機器の費用として、インバーターは約7万円、シーケンサは25万円という内訳であり、後は作業費、諸経費を含めて今回の補正額となる。

**問** こういった修繕を行う場合、複数の業者から見積をとるのか。

**答** 本来、金額的に入札扱いとなるが、本施設は設計から管理まで、全て共和加工株式会社が行って





電動生ごみ処理機を使っています

おり、特殊な機材であるため同社との随意契約でお願いしたい。

6万円

**塵芥処理費一般経費**  
生ごみ堆肥化機器購入補助

**問** 生ごみ処理機の購入費補助について、今年度の申請数と、これまでの累計の受付数は。

**答** 今年度は当初予算で4件分を計上、9月補正で3件の増、今回の補正で

2件の増となり、合計9件となる。累計受付数は200名以上の方からの申請を受けている。

55万円

**こども・健康推進課**  
**児童運営費**  
ながと保育園運営経費

**問** ながと保育園は電気料を増額計上しているが、和田保育園での見通しはどうか。

**答** 和田保育園では増額の

必要はないと思われる。夏、一部屋に集まってエアコンを使用するなどしたため、電気料は抑えられている。

1千円

**教育課**  
**歴史の道中山道保存整備活用事業**

**問** 永代人馬施行所の屋根修理工事について、国・県からの補助は。

**答** 国の指定史跡であり、大規模な修理には、国が50%、県が上限50万円で3%の補助がある。

10万7千円

**隣保館費**  
建物修繕費

**問** ふれあい館の建物修繕費の内容は。

**答** 自動ドア部品の一部交換、誘導灯のバッテリー交換、FAX回線ルーターの交換、集居室倉庫の天井部分の漏水修繕の4か所分の費用である。



中山道 永代人馬施行所 (接待)

令和5年度長和町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)について  
既定の予算総額に377万9千円を追加する。

**問** 保険者努力支援制度とはどのようなものか。

**答** 都道府県および市町村における医療費適正化の取組支援として、各保険者の取組状況に応じて交付金を支給する制度。保険者における医療費適正化の取組評価指標が毎年設定され、その達成状況に応じて交付額が決定される。

令和5年度長和町介護保険特別会計補正予算(第2号)について

既定の予算総額に4万5千円を追加する。

**問** 歳出の保険給付費において、特定財源が減額になったのはなぜか。

**答** 国、県からの実績額を

基に減額を行っており、当初の見込みより人数が減少したため。



- 1, <sup>たふく こうき</sup> 田福光規 議員 …………… P. 9
- (1) 奨学金貸付の現状と課題、給付型奨学金の新設等の提案について
  - (2) 国民健康保険の現状と課題、保険料引き下げの提案について
  - (3) 介護保険の現状と課題、保険料引き下げの提案について
- 2, <sup>わたなべ ひさと</sup> 渡辺久人 議員 …………… P.10
- (1) 「東京農大山村再生プロジェクト」の検証について
  - (2) 依田窪病院「医師の働き方改革」の状況について
  - (3) デマンド交通の進捗状況について
- 3, <sup>はらだ えしろう</sup> 原田恵召 議員 …………… P.11
- (1) 下水加入区域（区域外）と合併浄化槽補助について
  - (2) イギリス、セツフォードとの国際交流
  - (3) 旧農協長久保店の建物はどうするのか
  - (4) 最低賃金は実行されているのか
- 4, <sup>あべ ゆきこ</sup> 阿部由紀子 議員 …………… P.12
- (1) 和田保育園と和田小学校の今後
- 5, <sup>おぎの ともかず</sup> 荻野友一 議員 …………… P.13
- (1) 台風 19 号の検証と町の防災について
- 6, <sup>たつの かずゆき</sup> 龍野一幸 議員 …………… P.14
- (1) 森林保全について
- 7, <sup>は た きみお</sup> 羽田公夫 議員 …………… P.15
- (1) 町有財産の処分について
  - (2) 学校給食の再度の値上げについて
  - (3) 和田宿ステーション「道の駅」の経済的効果について
  - (4) 長和町の獣害対策について
- 8, <sup>さとう けいち</sup> 佐藤恵一 議員 …………… P.16
- (1) 5期目町長公約の進捗説明
  - (2) 奨学金返還支援制度の創設について
  - (3) 町の空家対策

# 質一般

# 8人の議員が町政を問う！

第4回定例会では、12月5日（火）6日（水）に一般質問が行われ、8人の議員が町の課題について質しました。

★議員の質問時間は、答弁を含め60分以内です。「議会だより」では、誌面の都合上、質問議員が質問と答弁を要約して掲載しています。





田福 光規  
議員

奨学金貸付の現状と課題、給付型奨学金の新設等の提案について

# 「奨学金規則」の見直しを行う考えは

## 償還の年数や据置期間等の検討を考える

**問** 当町の奨学金基金総額と令和4年度末の貸付中の金額、基金残高は。

**答 教育課長** 基金総額は1億1928万円。貸付中の金額は6771万5千円。令和4年度末の基金残高は5156万5千円である。

**問** 過去5年間の新規利用者数は。

**答 教育課長** 令和5年度3件、令和4年度7件、令和3年度4件、令和2年度10件、令和元年度7件である。

**問** 「長和町奨学金の貸与に関する規則」は、長和町合併時に制定された後、見直しは行われていない。この間、私立大学の授業料は値上げされており、更に昨今の急激な物価上昇が、学生

を抱えた家庭と学生の生活を直撃している。「規則」の見直しを行う考えは。

**答 教育課長** 奨学金に関する規則の見直しは、奨学金返

### 奨学金返還支援助成金の実施を

### 奨学金返還支援制度を創設したい

**問** 第一の提案は、給付型奨学金の新設の提案である。

**答 教育課長** 下諏訪町では、真に支援が必要な低所得者世帯の方に対して給付型奨学金の支給を行っています。下諏訪町を参考に、給付型奨学金実施の検討を要望する。

**問** 第二の提案は、奨学金返還支援助成金制度である。この制度は、町に転入して奨学金を返還している人、または、町出身者で町に住民登録している奨学金の返還をする人の奨学金返還額の一部を補助する制度である。実施を。

還支援制度の創設と併せて行う必要があると考えている。償還の据え置き期間や償還年数などについても検討したい。

いく。

**問** 第二の提案は、奨学金返還支援助成金制度である。

**答 教育課長** 他の実施自治体の制度も参考にして、町の

財政部局などとも協議をしながら検討したいと考えて

いる。

(抜粋)



依田窪南部中学校



渡辺 久人  
議員

「東京農大山村再生プロジェクト」の検証について

## 「東京農大山村再生プロジェクト」の効果は

## 大学、町にメリットになる取組みとしたい

**問** 長久保の芹沢圃場<sup>ほじょう</sup>では、

長年にわたり実習がされておらず、農地再生ができていない。個人所有の土地を町が借り受けた圃場<sup>ほじょう</sup>と思うが、管理者は町か大学か。

**答** 産業振興課長 農大が借り受けている以上、適正な管理をしなければならぬことは当然だと考える。適正な管理を行って頂くよう農大に申し入れている。

**問** 平成4年から交流が始まって以来30年余が経過している。官民学交流として、経済面文化面など、町はこの「東京農大山村再生プロジェクト」の効果をどのように評価しているか。

**答** 町長 町内宿泊施設の利用、町内の団体や住民との

交流、地域活動への参加など、人的な貢献や交流人口の創出においては一定の成果があったと考えるが、町

内農業者や事業者の事業化や所得向上、地域課題解決の新たな担い手の発掘や育成面においては実現できて

依田窪病院「医師の働き方改革」の状況について

依田窪病院「医師の働き方改革」の影響は

医師の確保ができれば影響はないという

**問** 依田窪病院によると、依田窪病院の医師で昨年度に

年間960時間、月100時間以上(A水準)の時間外勤務を行った医師はおらず、現在の医師体制が確保できれば医師不足になることなく、働き方改革による診療体制への影響もないと

いない。これについては町民の皆様にお詫びし、しっかりと反省したい。今後、今

までの連携の在り方を見直すとともに、東京農業大学また町にとつてもメリットにつながるような取り組みとしたいと考えている。

のことである。

また、依田窪病院の職員総数は256名で、うち住所地在が上田市の正規職員が121名で57%、長和町が35名で16%余である。長和町に住所を有する職員が少なくと思われるが、一人でも多くの町民が依田窪病院

で就労できるような施策は行えないか。

**答** こども・健康推進課長 依田窪病院独自の制度とし

て、看護師・保健師及び薬剤師への修学資金制度と入職準備金制度がある。

デマンド交通の進捗状況について

デマンド交通の進捗状況は

ドア・ツー・ドアで希望の場所まで利用可能

**問** 11月下旬に長和町公共交通審議会が開催された。開催に当たり、町民や利用者の意向調査を行ったのか。

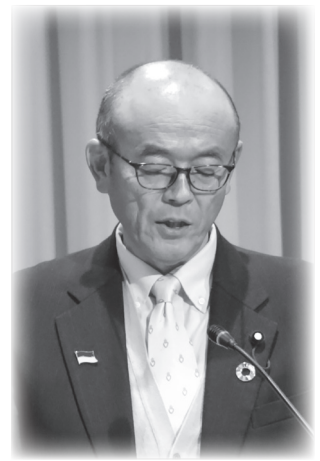
**答** 町長 令和3年に、巡回バスの運行を委託しているJRバスによる利用者アンケートを実施し、利用方法などの実態を聞いている。

**答** 総務課長 デマンドバス運行エリア内において、希望の場所から希望の場所まで利用可能となるため、かなり狭い場所で乗降する可能性もある。7人乗り程度のワゴン車や5人乗り程度の乗用車等の導入も検討している。

**問** 「ドア・ツー・ドア」方式で実施するのであれば、運行車両はワゴン車でなく、普

(抜粋)





原田 恵召  
議員

イギリス、セフトフードとの国際交流について

# 何人で行って、いくらかかったのか

## 総勢21人で1546万円(町費1036万円)

**問** 今年度のオランダ経由イギリス渡航の費用はいくらかかったのか。その財源と個人負担金はいくらか。

**答 教育課長** 町長を団長として、引率支援の研究者2名、役場職員4名、3期・4期の黒耀石大使14名の総勢21名で、滞在費を含む渡航経費の総額は1546万円1355円である。

財源は、研究者2名とミュージウム学芸員の渡航費230万650円に対して東芝国際交流財団の助成金175万円。黒耀石大使の渡航費は総額1015万8078円(1人72万5577円)で、自治体国際化協会の250万円、グレートブリテン・ササカワ財団の

事業助成20万円、個人負担金105万円(1人7万5千円×14名)と国際交流基金からの充当135万円を加え、総額510万円の助

成金と負担金を財源としている。なお、町長を含む役員計4名の渡航費は総額300万2627円で、町の一般財源を充当した。

### 昨年度の長崎研修はいくらかかったのか

#### 総勢19人で218万円、基金を取り崩した

**問** 昨年度、長崎に行った詳細、及び、その財源は。

**答 教育課長** 長崎研修の費用総額は218万7967円で、財源は「新町一体感醸成基金」からの繰入金で実施した。参加者は大使が16名、引率が3名(職員2名・撮影の地域おこし協力隊1名)である。

**問** 長崎やオランダに行く必要があったのか。国際交流

から逸れていないか。

**答 教育課長** 長崎研修は、渡航事業における大使の任務とされたシーボルトコレクション調査の事前研修として行ったものであり、海外に持ち運ばれたコレクションの経緯やその社会背景について、専門の研究者から直に話を聞いた。

この長崎での活動とオランダでの調査計画が、国際

交流のモデル事業として自治体国際化協会に高く評価され、異例の助成金採択に結びついたという経緯がある。

流事業実行委員会に改めて諮りながら個人負担金を決めて行けたらと考える。

**要望** 高校の修学旅行だつて個人負担で行っている。新婚旅行でもこんなにかからない。しっかり検証してほしい。

**問** 町長もイギリスへ行って、費用は。

**答 教育課長** 町長の渡航費及び滞在費は82万5900円である。(目的は、町ホームページの議会12月定例会会議録でご確認下さい)。

**問** 個人負担金を増やした方が良いのではないか。今回は円安により費用が高(たか)なりました。増加分を町が全部負担するのはいいか。

**答 総務課長** 増額分は町で負担したい。今後は国際交

他の未掲載の一般質問、

(1)「下水道区域(区域外)と合併浄化槽補助について」

(2)「旧農協長久保店の建物はどうするのか」

(3)「最低賃金は実行されているのか」

(4)「最低賃金は実行されているのか」については誌面の都合により割愛します。詳細は町ホームページに掲載する議会12月定例会会議録をご覧ください。(抜粋)



阿部由紀子  
議員

和田保育園と小学校の今後について

# 当事者の気持ちをも最優先に

## 保護者も子供も地域の一員である

**問** 4月の懇談会では保育園の保護者から小学校統合を望む声があったが、10月の保育園留学の説明会では「統合する予定はない」との答えだった。どうしてか。

**答 教育長** 和田小学校では複式学級が始まり、単級の授業、連学年合同授業、異年齢集団の縦割り活動やICT利活用など、少人数ではあるが特色を生かした学校運営をしている。地域コミュニティの核としての学校の性格や地理的要因、地域の事情等についても十分に配慮し慎重に判断していかねばならない。

**問** 11月16日の信濃毎日新聞に、和田小学校において「小規模特認校」を検討、との記事が出ていた。どのような制度か。

**答 教育課長** 児童数が減少し存続が危ぶまれる小学校において行われており、長和町では和田小学校が対象となる。制度を導入することにより、長門小学校の通学区の児童も希望すれば和田小学校に通学することができる。

**問** 説明会では、学区の決まりで和田の子は長門小へ行くことはできないとの話があった。保護者からは、長門小の子は希望した学校を選べるのに、和田の子が移動できないのは不平等ではないかとの声がある。学区を決める権限はどこにあるのか。

**答 教育長** 小規模校のメリットを生かして学校を存続をさせることを考慮した制度であるため、不平等という認識とは違うのではないかと思う。特例制度は主に全校生徒が100人以下の学校が対象で、長門小学校は160人以上なのでこの制度の対象にはならない。

**問** 町に通学区の設定、変更は教育委員会が行っている。子どもの数がどんどん少なくなっていくこれからの世代の思いをわかってほしい。和田は手厚く勉強を見てもらったり、アットホームな雰囲気がとても良いが人数が少なすぎるのが問題である。同級生がいないと

か、上の学年や下の学年がないという学年が出てくるのは心配。学区を撤廃して、どちらの小学校も選択できるといふ制度に変えてほしいとの意見がある。

**答 教育長** 通学区の撤廃となれば、児童の取り合いという懸念が生じてくる。現段階では通学区の変更を行う予定はない。

**問** 経田小との交流や、音楽会、運動会、修学旅行など、人数が多い方が達成感もある。サッカーや野球など、大勢じゃないとできないことを経験させてあげたいという声もある。当

事者の気持ちを最優先に考えるべきなのではないか。

**答 教育長** 和田小学校は文部科学省型のコミュニティスクール事業を全国に先駆けて取り入れた、120年以上の歴史を持つ学校である。現在でも地域の方々ボランティアで児童の支援をしている。保護者と子供も地域の一員であり、どちらを優先という問題ではないと考えている。(抜粋)

令和6年1月17日現在の児童園児数

	長門小学校			和田小学校		
	男	女	計	男	女	計
6年生	14	15	29	5	4	9
5年生	15	11	26	4	1	5
4年生	16	15	31	3	4	7
3年生	14	15	29	1	3	4
2年生	10	18	28	1	2	3
1年生	12	10	22	4	2	6
ながと保育園						
5歳児	17	14	31	3	1	4
4歳児	12	15	27	2	1	3
3歳児	8	9	17	0	1	1
2歳児	11	5	16	1	2	3
1歳児	6	4	10	0	0	0
0歳児	6	2	8	0	0	0





荻野 友一  
議員

台風19号の検証と町の防災について

# 台風19号災害の検証はできたのか 災害時は連携し、困難に立ち向かう

**問** 台風19号災害の被害総額はいくらか、復旧率はどれくらいか。

**答** 町長 道路、河川、橋梁、農地、農業施設、上下水道、林道等に関する被害総額は27億円強にのぼり、復旧工事はほぼ完了となる。

**問** 台風19号を経験し、町内各種団体との被災後の検証によって明らかにされた問題点は何か、また、それらをどう解決するのか。

**答** 総務課長 問題点や意見として、大きく分けて備蓄情報伝達、高齢者避難等が挙げられた。

備蓄に関しては、普段の生活の中で利用されるものを備えるよう心掛ける。情報伝達に関しては、防

災無線、ホームページ、CATV文字放送、FMとうみ、フェイスブックなどのSNSで情報発信をしているが、合わせて令和6年2月に実装予定のお知らせアプリ「Nナビ」を活用していく。

**問** 高齢者避難に関しては、避難行動要支援者を対象に「個別避難計画」の作成に事業として取り組んでいる。

**答** 総務課長 長和町の地域防災計画による避難指示には、風水害として5つの体制があり、降雨の状況、依田川の水位計によるデータが判断基準となる。今年度地域防災計画の改訂を予定

しており、発令基準についても気象庁からの危険分布「キキクル」などを活用し、集中豪雨などにも対応する予定でいる。

**問** 自主防災組織が町に定着しない原因はなにが考えられるか。

**答** 総務課長 防災リーダーの不足、地域構成員の高齢化、防災意識、役員任期など種々の理由が考えられる中で、防災士取得等を推進し、地域の防災リーダーを組織の中心として活躍できるように努めていく。

**問** 全町を上げた実践的な防災訓練が

必要だと考えるが町の方針はどうなっているのか。

**答** 総務課長 地区防災組織や自主防災組織が避難訓練等実施した経過がある。

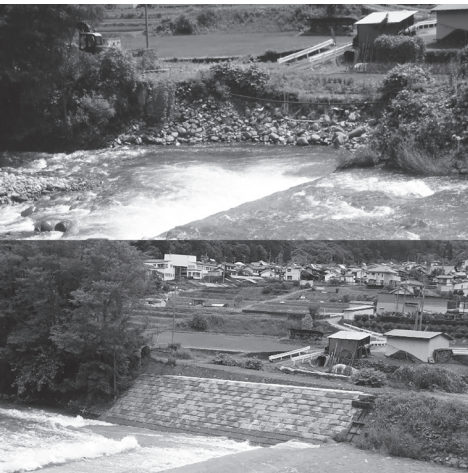
**問** 大災害時には、町民、消防を進めていきたい。

**答** 総務課長 災害時において、行政が一体となって困難に立ち向かわなくてはならないが、その一体感を醸成する方法を、町はどう考えているのか。

**問** 防災訓練後の催しなども含め、開催できる規模や効果等、関係する諸機関と協議を進めていきたい。

**答** 総務課長 災害時において一体となり連携して困難に立ち向かうことは大変重要であり、災害の軽減を図るためには「自助、共助、公助」が不可欠であると考えられる。この3つの連携が円滑であれば被害は軽減でき、一人一人が無事であれば地域や身近にいる人同士で助け合う「共助」は成り立たない。この3つの重要事項への取り組みをさらに強化していくことが、一体感の醸成に繋がると考える。

(抜粋)



台風19号で被災した堤防と復旧後



龍野 一幸  
議員

森林保全について

# 山林を譲渡したい所有者への対応は 県や他の市町村の状況を踏まえ検討する

**問** 手の行き届かない森林について、町が委託を受けて公的に管理する森林経営管理制度がある。この制度の活用に向け所有者に対し意向調査はされたか。

**答 町長** 市町村では人材が不足していることから、上田地域広域連合での共同処理などが検討され、町では森林組合が主となり意向調査を実施した。しかし、長和町には、森林経営計画を立てられていない私有林で且つ人工林で整備されていないという条件に合う山林が殆ど見当たらず、所有者の森林に関する意識調査に切り替えた。

現在では森林環境譲与税を活用した森林整備推進の

方向にあり、長和町では森林の状況が土地管理システムで検索できるため、意向調査を実施するよりも直接所有者へ提案する方が良いと考えている。

**問** 山林等を無償で譲渡したい所有者に対し、今年4月に、国が引き取る「相続土地国庫帰属制度」がスタートした。町として積極的な案内はできないか。

**答 産業振興課長** この制度の申請、相談窓口は法務局となつている。町は現在積極的な周知は行っていないが、県や他の市町村の動向を注視し検討していく。

**問** 次年度(令和6年)から課税される国税「森林環境税」(県税の森林税500円は、

今後課税される)だが、令和6年度の国からの譲与額の見込みとその活用はどのように計画しているか。

**答 産業振興課長** 譲与額は見込みで、2024万7千円となる。老朽化した林道内橋梁の改修、皆伐予定地の林道・作業道の整備、ライフライン保全の為の伐採などを計画している。

**問** 樹木は自然界のダムともいう。森林保全と並行して災害対策面から「水源涵養機能」のある広葉樹の計画的な植樹は更に必要と考えるか。

**答 産業振興課長** 町の水源涵養林は保安林となっており、水源涵養機能は保たれている。川の上流にある町

として、管理、伐採、植え、育てる、を持続させることが保水にも繋がることだと考える。(抜粋)

## 相続土地国庫帰属制度の条件【引き取ることができない土地の要件】

- (1) 申請をすることができないケース(却下事由)(法第2条第3項)
  - A 建物がある土地
  - B 担保権や使用収益権が設定されている土地
  - C 他人の利用が予定されている土地
  - D 土壌汚染されている土地
  - E 境界が明らかでない土地・所有権の存否や範囲について争いがある土地
- (2) 承認を受けることができないケース(不承認事由)(法第5条第1項)
  - A 一定の勾配・高さの崖があつて、管理に過大な費用・労力がかかる土地
  - B 土地の管理・処分を阻害する有体物が地上にある土地
  - C 土地の管理・処分のために、除去しなければいけない有体物が地下にある土地
  - D 隣接する土地の所有者等との争訟によらなければ管理・処分ができない土地
  - E その他、通常の管理・処分に当たって過大な費用・労力がかかる土地





羽田 公夫  
議員

町有財産の処分について

# 旧和田中学校舎、体育館の処分は適正か

## 国の基準で評価額をきめ、適正に処分した

**問** 「個別施設計画」では、取り壊しの判定を受けている建物が40ヶ所あるとのことだが、処分が進んでいない問題点はなにか。

**答 企画財政課長** 40ヶ所が老朽化等で取り壊しを計画しているが、現在、そのほとんどを利用している状態で、完全な空き家状態は僅かである。また、単純な取り壊しには有利な起債や補助金が無く、財政状況から後回しになっている。

**答 企画財政課長** 昨年度の旧和田中施設跡利用候補者選定委員会において、校舎

は「長和町スポーツコミッション」に、体育館は「日本ウオルナット」に決定し、現在利用してもらっている。

両建物とも、国の評価基準に則って税務係から評価額を示してもらい、賃貸料や譲渡価格を算定した。校舎は敷地・建物とも賃貸借。体育館の敷地は賃貸借、建物は売却した。

**問** 町としては、売却益や固定資産税等の増収にもつながり、好結果と受け取れるが、町長はこれをどのように評価しているか。

**答 町長** 旧和田中学校の跡利用に関しては、これまで具体的な利用方法を決めかねていた。選定された2者には未永く施設を活用して

ほしい。町としては、利用されていなかった施設を有

### 和宿ステーション「道の駅」化の経済効果について

### 国交省管轄の「道の駅」化の効果は

### 来客数・売上ともに伸びている

**問** 和田田宿ステーションが国土交通省管轄の「道の駅」になり、利用者が大きく伸びているようだが、その実態はどうか。

**答 産業振興課長** 令和4年と5年で見ると、客数は、9月が6678人で1200人の増。10月は9852人で3220人の増。売上も、10月分で、令和5年は1497万円余で189万円余の増と伸びている。今年はずっと増えている。

効活用して頂き、感謝している。

### 国交省管轄の「道の駅」化の効果は

### 来客数・売上ともに伸びている

**問** 「道の駅」の登録が2月28日、お披露目が9月28日と開きがあるが、なぜ半年もかかってしまうのか。

**答 産業振興課長** 2月の登録以降、国・県の関係機関と供用開始について協議してきた。その中で、標識の設置工事完了や供用届の提出、登録伝達式の関係者と

来賓等の調整があり、9月となった。

### 産 業 振 興 課 長

木橋北側の使われていない緑地の有効活用計画はあるのか。

**答 産 業 振 興 課 長** 木橋北側の緑地の利用については、駐車場の他、イベントスペース、ドックラン、バーベキュー等多様な目的や用途の活用が見込まれるが、町が置かれている厳しい財政状況や管理体制等を考慮しながら、慎重に協議・検討することが必要であると考えている。



佐藤 恵一 議員

奨学金返還支援制度の創設について

# 奨学金返還支援制度の導入は

## 支援制度の創設を行いたい

問 町長公約事業にある「奨学金返還支援制度」の導入

はできないか。

答 町長 検討すべき課題が

### ★ 語句解説 ★

問 「奨学金返還支援制度」とは？

答 大学などに在学中貸与された奨学金の返還を自治体等が支援する制度。自治体ごとに居住や就業など一定の要件を定めており、UIJターン等で地元に戻る若者を支援、令和4年11月時点で全国615市町村で実施されている。ほかに、企業が奨学金を代理返還する企業版の制度もある。

多いが、奨学金貸付運営委員会にも協議に加わって

だだき、制度の創設を行って参りたい。

町長5期目公約の進捗説明について

町長公約の進捗について町民に説明を

ホームページ等で公表していきたい

問 羽田町長5期目の任期半分を過ぎ、町長公約8つの

大枠と101の項目について、町民に対して進捗状況を説明する予定はあるか。

また、その形式は。

答 町長 令和5年度の決算状況を踏まえ、広報やホームページ等において分かりやすく公表していきたい。

町の空家対策について

特定空家等に対する対応状況は

特別措置法に基づき事務を進めている

問 令和5年度における特定空家等に対する町の対応状況は。

答 町民福祉課長 令和5年

度、長和町空家等対策協議会を2回開催し、候補空家3棟を確認、特定空家と認定した。その判断を受け、

### ★ 語句解説 ★

問 「特定空家」とは？

答 保安上危険、衛生上有害、著しく景観を損ねる等により町が「特定空家」に指定する。指定されると、固定資産税減税の特例措置が解除されたり、代執行により取り壊されたりする可能性があるため、空家所有者は空家の適正な管理が求められる。

問 「空家等対策の推進に関する特措法」に基づき、助言指導等の事務を進めている。

住民から、管理不全の空家等の情報提供があった場合、町は速やかに現状調査を行うとされているが、現状はどうか。

答 町民福祉課長

令和4年度11件、5年度1件の相談



町長の部屋>8つの公約



# 議会懇談会 委員会視察研修 広域組合議会 活動報告

## ■松川町視察研修

### 遊休農地活用 から始まった 有機給食



Tafuku

10月3日(火)、社会文教  
常任委員会を中心に、県内  
での有機給食の先進地であ  
る松川町に視察研修を行  
いました。

下伊那郡松川町は、伊那  
谷のほぼ中央にあり、45  
00世帯約1万2千人、長  
和町の約2倍の人口です。  
天竜川へと続く傾斜地では  
梨、リンゴなどの果樹栽培  
が盛んで、くだものの町  
と呼ばれています。

松川町では、農業委員会  
の遊休農地対策をきっかけ  
に、有機農業が始まりまし  
た。当初は、遊休農地を活  
用した一人一坪農園をつく  
り、町内に住む子育て世帯  
を中心として、子どもたち  
に安全・安心な野菜を食べ  
てもらうための家庭菜園の  
普及を図り、その延長で学  
校給食への野菜の供給に取  
り組んできました。有機農  
業の推進には優れた指導者  
による実地での研修が必要  
であることを学び、202  
0年から松本市の公益財団  
法人自然農法国際研究開発  
センターから指導者の派遣  
を受け、遊休農地を活用し  
た実証圃場での有機野菜の  
栽培に着手しました。その  
後、家庭菜園講座の講師を  
含む農家からなる「松川町  
ゆうき給食とどけ隊」を結  
成し、実証圃場で学びなが  
ら、米、ジャガイモ、ニン  
ジン、タマネギ、長ネギの  
学校給食への供給を開始し

ました。学校給食での有機  
野菜の利用率は、令和2年  
7・62%、令和3年21・40%、  
令和4年25・97%と、順調に  
増加しています。

有機農業と有機給食を進  
める3者(町・学校・松川  
町ゆうき給食とどけ隊)の連  
携が非常にうまく行われて  
おり、互いに尊敬し合って  
取り組んでいることに、と  
ても感心しました。

この視察研修には、役場  
の関係職員も同行していま  
すので、力を合わせて、我  
が町でも有機給食の取り組  
みを進めていきたいと思  
います。

(報告…田福光規議員)



松川町役場で説明を聞く

■ 町議会・(株)マウント長和・町による懇談会



# スキー場の運営状況は厳しい



Tatsuno

ブランシュたかやまスキー場の年末年始

11月21日(火)、立岩和紙の里・ブランシュたかやまスキー場・姫木平自然の家を指定管理者として運営する(株)マウント長和と町と議会との懇談会が開催されました。

(株)マウント長和から管理施設の業況と今後の運営方針について説明があり、質疑を行った。

▽管理施設の業況について  
 令和4年度における管理施設全体(スキー場・自然の家・キャンプ場・和紙の里)の資産と負債及び純資産に関する貸借対照表が示され、売上と管理経費の業況説明があった。売上3億3千万円余に対し、管理経費等を引いた収支では5600万円余の損失が示された。

▽今後の運営等について  
 振興公社から引き継いだ約8千万の起債事業に過疎債・辺地債・コロナ資金償還分を加えた約3億円の返済計画について説明があった。

11月21日(火)、立岩和紙の里・ブランシュたかやまスキー場・姫木平自然の家を指定管理者として運営する(株)マウント長和と町と議会との懇談会が開催されました。

(株)マウント長和から管理施設の業況と今後の運営方針について説明があり、質疑を行った。

▽管理施設の業況について  
 令和4年度における管理施設全体(スキー場・自然の家・キャンプ場・和紙の里)の資産と負債及び純資産に関する貸借対照表が示され、売上と管理経費の業況説明があった。売上3億3千万円余に対し、管理経費等を引いた収支では5600万円余の損失が示された。

▽今後の運営等について  
 振興公社から引き継いだ約8千万の起債事業に過疎債・辺地債・コロナ資金償還分を加えた約3億円の返済計画について説明があった。

■ 長和町民生児童委員協議会との懇談会

# 町民が安心安全に暮らせる町に



Ogino

資材の高騰、最低賃金の上昇、スキー人口の減少などでスキー場は厳しい経営状況であるが、キャンプ場、和紙の里の経営は順調。人口減少による人材不足の課題もあり、特にスキー場運営で町外者への依存傾向が高まっている。町の観光をリードする施設。町民の理解と協力、そして参加が経営健全化の一助となるのである。(報告：龍野一幸議員)

11月28日(火)、長門町民センターにおいて、民生児童委員の活動を理解し支援するため、民生児童委員協議会の皆さんとの懇談会を開催しました。議会から9名、協議会の役員さん5名が参加し、児玉協議会長から説明を受け、懇談を行いました。

長和町では民生児童委員27名と主任児童委員2名をお願いしており、月1回の定例会をはじめ各種研修会



懇談会を終えて、民生児童委員の皆さんと

のなり手不足や、民生児童委員の仕事の多様化などの問題も含みながら、日々の委員の皆様の積極的な活動を通し、地域住民の大きな助けになっていることをお聞きして、改めて大変感謝の気持ちを含め、機会となりました。

議会としても民生児童委員協議会の手助けになるような活動を進めていきたいと思えます。

(報告：荻野友一議員)

に参加して研鑽を積み、それぞれ地域において、心配ごと相談、見守りあいさつ運動、敬老祝賀会等「町民の安全安心のために」活動を展開して頂いています。

人口減少や高齢化による民生児童委員





# 議会報告懇談会を4年ぶりに開催!



長門町民センター(第1日)は31名が出席

■ 11月7日(火)、午後7時から、長久保の長門町民センターで議会報告懇談会を開催しました。3年半に及ぶコロナ禍により、なかなか人が集まる町民懇談会のような催しができず、4年ぶりの開催となりました。長久保だけでなく、町内各地区から31人の参加がありました。

今回は、9月議会に行つた令和4年度の決算を中心に審議結果を報告した後、質疑を行いました。決算だけでなく、来年4月から始まる予定のデマンド交通がどのように運行されるのか、社協のなつちゃん便については、和田宿ステーションの改修にかかった6700万円の費用対効果についてはどうか、などの質問が出席された意見が交わされ、また、要望が出されました。

出された意見や要望は行政に繋いで、改善されるよう働きかけることが大切だと感じました。

(報告: 原田恵召議員)

■ 11月8日(水)、午後7時から、古町コミュニティセンターで議会報告懇談会を開催しました。古町地域を中心に、町内各地区から15人の参加がありました。

古町コミュニティセンター講堂の広さが参加者数と議員数のバランスに合つて、空間の雰囲気程よく、意見を持つて集まった参加者の発言意欲に終わりまで支えられたように感じました。また、2日目になって連日の参加者もあり、話し合いの内容に深まりと広がり、ゆとりの様な雰囲気も感じられました。

議長から今回の懇談会の主旨説明、議員の自己紹介の後、懇談に入り、参加者から出された質問や提案の内容を中心に、話し合いが進められました。その主な内容を掲載します。

▽中山間地域直接支払事業と劣悪な農地環境について  
 Ⅱ農地や農道、水路の維持管理、鳥獣害対策などの事業に交付金が出て、実施集落に2400万円余のお金  
 が支払われたが、実態は排水問題、獣害、草刈り等の課題に高齢化も重なり、中山間地の農地の管理運営には課題が多い。

▽マイナンバーカードとデジタル化について  
 Ⅱマイナ保険証になるが、今は紙の保険証と2本立て。来年の秋に一本化するの急ぎす



古町コミュニティセンターには15名が参加

ぎでは。誰もが安心して使えるようにと、議会でも意見書を提出した。

▽児童クラブ、エコールに頼る長和町の図書館Ⅱ図書館へ行って子どもが沢山いて大変な状態。児童クラブは小学校を使つたらどうか。図書館も本が少ない。ネットで本を借りることも可能。

▽スキー場とスノーボードⅡエコーバレースキー場が休業してしまつて、ペンションの皆さんが困っている。ブランシユでスノーボードができないと客が離れてしまう。スキーヤーオンリーにこだわっている場合か。現在、運営会社でも検討されており、今後、総合的に判断される。

▽教育委員会と予算Ⅱ教育費が11・2%というのは少ないのではないか。教育委員会がもっと子どもの教育について真剣に考えなくてはいけない。

(報告: 羽田公天 議員)

■ 町議会・(株)長和町振興公社・町による懇談会



(株)長和町振興公社の事務所が入る「やすらぎの湯」

# 振興公社は温泉の経営に集中します



12月12日(火)、活性化施設「蔵」において、(株)長和町振興公社、議会、町の懇談会が開催されました。

(株)長和町振興公社は、令和3年4月、ブランドシユたかやまスキー場と信州立岩和紙の里を分離し、温泉部門とケーブルテレビを中心とした法人としてスタートした。企業規模の縮小に伴い、昨年9月に資本金を300万円に減資、会社の構造改革に取り組んでいる。3年半に及ぶコロナ禍の

影響で落ち込んでいた温泉売上は、入館者数の回復傾向と料金の値上げにより増加してきている。その一方で、各地で発生した紛争や円安等による水道光熱費増加の影響が経営を直撃して

おり、25期決算は543万円余の損失となった。

26期については、公社が温泉施設を担う公共性の高い地域に密着した会社であることを踏まえ、町民の福祉と健康の推進に貢献するための組織改革や持続可能な取り組み、設備改修等について、振興公社から計画案が説明され、その後、意見交換が行われました。

(報告：阿部由紀子議員)

■ 長和町商工会と議会との懇談会

## 事業者の持続的発展に向け伴走型支援



12月19日(火)、役場庁舎において、長和町商工会と議会との懇談会が開催されました。商工会から役員3名と事務局2名が、議会からは9名の議員が参加しました。

長和町商工会から町及び議会へ要望書が提出されたことを受け、その内容を中心に懇談会を開催した。

最初に町内の事業所をとりまく経済環境について現況を聞き、現在、商工会ではアフターコロナを見据えて、地域事業者が持続的発展と活性化を図るべく、経



「マルメロの駅ながと」にある長和町商工会館

営問題の課題解決に向けた「伴走型支援」にこれまでより一層力を入れていくとのこと。

その後、令和6年度事業に関わる、長和町議会への6項目の要望内容について説明を受け、それぞれの要望に対する質疑応答後、商工会と議員の間で活発な意見交換が行われた。

各要望について意見を交わしたことで、町内事業所の置かれている現況がより具体的に分かり、大変有意義な懇談会であった。

(報告：佐藤恵一議員)





## 上田地域広域 連合議会

■上田地域広域連合議会／上田市長和町中学校組合議会

10月25日(水)から27日(金)の会  
期で、上田地域広域連合議会10月  
定例会が開催され、令和4年度上  
田地域広域連合一般会計及び特別  
会計決算の認定、令和5年度一般  
会計及び特別会計補正予算、条例  
案2件について審議が行われ、全  
ての議案が全員賛成で認定、可決  
されました。

■土屋広域連合長から、広域連合  
の最重要課題である資源循環型施  
設建設、地域医療対策、クリーン  
センター、斎場、広域消防などに  
ついて状況説明がありました。

### ■一般質問

- (1) 資源循環型施設建設について
  - (2) 上下圏域の救急医療について
  - (3) 救急医療体制強化の取り組み  
について、消防職員の配置状況  
について(渡辺久人議員)
  - (4) ゴミ処理広域化計画について
- \*質問・答弁内容は上田地域広域  
連合広報紙第89号に掲載。

(報告：渡辺久人議員)

令和4年度 上田地域広域連合 会計別決算状況 (単位：円)

会計別	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
一般会計	2,151,729,000	2,189,162,891	2,025,603,992	163,558,899
ふるさと基金特別会計	107,017,000	122,135,615	100,078,237	22,057,378
介護保険特別会計	220,499,000	220,877,036	198,814,889	22,062,147
消防特別会計	2,543,979,000	2,464,861,014	2,406,824,154	58,036,860
特別会計合計	2,871,495,000	2,807,873,665	2,705,717,280	102,156,385
合計	5,023,224,000	4,997,036,556	4,731,321,272	265,715,284

## 上田市長和町 中学校組合議会



12月21日(木)、中学校組合議会第  
1回臨時会が開催され、令和5年  
度一般会計補正予算(第2号)、教  
育委員会の教育長の任命につき同  
意を求めることについての審議を  
行い、いずれも全員賛成で可決さ  
れました。

■一般会計補正予算(第2号) 歳

入歳出それぞれ3166万円を減  
額し、予算総額を1億2866万  
1千円とする。この主な理由は、  
エレベーター改修工事を予定して  
いたものの、今年度の工事完了が  
見込めないことから、計画を取り  
やめたため。

■教育長の任命について 引き続  
いて長和町の教育長である藤田仁  
史氏が中学校組合の教育長に選任  
された。(報告：田福光規議員)



上田地域広域連合が運営する「依田窪南部消防署」

# 第6回「議会モニター」会議 一年間、ありがとうございました!!

■「議会モニター」の皆様には、令和5年2月から4回の定例会を中心に、本会議や委員会の傍聴やゆいネットの視聴をお願いしてきました。令和5年12月定例会が閉会したことを受けて、1月9日（火）に第6回モニター会議を開催し、様々な意見や感想を伺いました。その一部を掲載します。

■ 提出して頂いた質問や意見は、議会モニター会議の中で回答するとともに、委員会等で検討してできる限り速やかに、対応していきます。



「議会モニター会議」を終えて

■ 議会モニターの意見・感想  
■ 一般質問 傍聴視聴する町民にはわかりにくい専門用語が多く、困った。理解を深めるためにも、かみ砕いた説明をしてほしい。

■ 常任委員会 答弁する説明者によって、聞き取りやすさに大きな差がある。早口の説明では町民にはわからないと思う。

■ 常任委員会 議員は、わからない事柄については、内容の大小にかかわらず遠慮なく質問してほしい。町民目線で質疑をする姿勢がよいと思います。

■ 議会運営全体 小学校の問題などについては、議会から教育委員会に声をかけて、町民参加のもとで、ともに活動することを希望します。

■ 議会運営全体 タブレット端末を使用するの初めての議会、活用幅は無限にあると思う。グラフなどの参考資料を見せながら質問したり答弁するなど、傍聴する町民にとってもより分かり易い議会になることを期待します。（抜粋）

## 第2期

### 「議会モニター」募集!!

議会の運営や活動について、町民の皆様のご意見をお聞かせ下さい!!

■「議会モニター」の皆様には、可能な範囲で本会議や委員会を傍聴して頂き、実際に議会の活動に触れて頂きたいと思えます。その上で、議会のあり方や運営の仕方、町政に対する議会の取り組みなどについて、議会活動全般に渡つての要望や意見を自由にお話し下さい。

■ 任務 ① 可能な日時に本会議や委員会を傍聴して、または、ゆいネットで視聴して、配布されるアンケートに回答する。

② 議会日より、議会HP等を閲覧し、意見を提出する。

③ 定例会ごとに開催する「議会モニター会議」に出席して意見を述べる。

★可能な範囲で結構です!!

■ 定員 10名

■ 任期 令和6年2月27日から1年間

■ 第1回募集 2月15日（木）まで

■ 申し込み 長和町役場議会事務局

☎ 0268(75)2059

Mail gikai@town.nagawa.nagano.jp

または、長和町議会議員までお願いします。



# 臨時議会

令和5年12月22日 第6回臨時議会

国において、デフレ完全脱却のための総合経済対策が閣議決定され、11月29日に補正予算が成立、国庫補助金が交付されることになった。これを受け、12月22日(金)、令和5年度第6回長和町議会臨時議会が開催され、物価高騰対策支援事業に関する補正予算案他について審議し、全員賛成で可決されました。

令和5年度長和町一般会計補正予算(第9号)について

既定の予算総額に8633万6千円を追加し、予算総額を60億2041万4千円とする

■物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金7056万2千円が交付され、物価高騰対策支援給付金事業費5950万円を計上。

令和5年分の住民税均等割非課税世帯(扶養なし)世帯770世帯、同(扶養あり)世帯80世帯に、1世帯7万円を現金給付する。

■現金給付する計画だが、地域の事業者への下支えという意味では地域いきいき券などが妥当と思うが。

■答 検討はしたが、即効性を考え、まず現金を配り、燃料高騰だけでなく、いろいろに使えるようにしたい。

■長和の里地域いきいき券事業負担金2050万円。地域住民の応援と消費喚起に係る町内事業者支援のため、町民1人3千円のいきいき券を配布する。

■指定管理施設燃料高騰支援事業補助金500万円。

町指定管理施設の電気代等を支援するため、光熱水

## 森田議長の議会概説(11)

●長和町議会の議会体制が少し代わりました。任期後半2年、真に町民とともに歩む議会を目指して努めていきます。議会概説も続きます。

■問 「定例会の本会議は、どう進んでいくの?」

■答 長和町議会の年4回の定例会は、町のCATVゆいネットで放送されます。開会日は午前9時30分に始まり、議会運営委員会で決定された議事日程に従って進みます。(1)議長の開会宣言、(2)会議録署名議員を2名指名、(3)会期を○日間と決定、(4)議案の報告、(5)開議を宣告して会議に入ります。(6)議事日程に従い議案を上げして(7)町長の提案理由の説明があります。ここまで

費の高騰分の一部を支援。

■問 対象となる事業者の数はいくつか。

■答 6つの事業者を予定している。



Morita

放映されています。

■マチイロアプリを入れると、スマホやタブレットでながわまち議会がより見えることができます。



## ★表紙写真の説明★

■「おたや祭」の夜の境内

1月14日(日)15日(月)に開催されたおたや祭では、コロナ禍を抜けて、もとの賑わいが戻ってきました。14日夜の大神宮境内や町の通りは、参拝する人や山車を楽しむ人、屋台を巡る人の列が途切れなく続きました。



(写真は、境内に並ぶ参拝者の列)

5月8日、10日

町民と議会との

懇談会 開催!!

ご意見をお聞かせ下さい!

■3月定例会で議決された令和6年度の一般会計・特別会計予算の概要を説明し、町民の皆様と、議会や町について懇談会を開催します。詳細は、4月中旬から、ゆいネット、議会ホームページでお知らせします。

# 長和町 あの人を訪ねて

— 第19回 —



よだ ひな  
**依田 雛** さん  
(和田新田区)

## 略歴・活動

1995年神奈川県生まれ。東京農大を卒業後、建設業や建機メーカーを経て、'21年に地域おこし協力隊となる。'23年からはナワメ社としてシェアハウスNAUやナワメマーケットの企画運営なども行う。

広報広聴常任委員会が町民の皆様を訪ねて、意見や活動をお聞きします。

**問** どうして長和町に？

**答** 大学卒業後、建設会社に入社するも心身を消耗するような都会の働き方に疑問を抱いたことをきっかけに、自分にとっての豊かな生き方、働き方について模索するようになりました。その後紆余曲折あり、自分にとっての本質的な豊かさは地方にこそあるのではないかと仮説を立て、その検証も兼ねて地域おこし協力隊制度を活用して移住してきました。長和町を選んだ理由は特になく、当時全国の空き家バンクのHPを見るのが趣

味だったくらい空き家に興味があつたので、空き家バンク関係のミッションで探していたところ長和町がヒットしたのであまり深く考えずに来ました(笑)。

**問** 町での生活は快適ですか？

**答** 関東での生活とは比べ物にならないほど毎日のびのびと過ごしています。移住当初の自分の写真と今の写真を見比べると明らかにほぼ表情や雰囲気明るくなったとよく言われます。移住当初25歳でしたが、この3年で考え方や価値観が大きく変わり、本当に良い経験をさせて

頂いています。  
**問** 町や議会に望むのは？

**答** 全国の地方が衰退しつつある今、過疎地域と呼ばれる自治体はどこも生き残りをかけて必死に課題に取り組んでいます。長和町はどこまで本気で未来のことを考えているのでしょうか。まずは町が抱えている課題や強みを客観的な目線で分析し、今後の町のビジョンを前面に打ち出していくことが何よりも必要だと感じます。長和町は子育て世代の移住者を増やしたいとのことですが、一人の20代女性の個人的な意見としては、今の長和町で子育てをするのは現実的でないと感じています。本気で子育て世代や若者世代を呼びたいのであれば、大きな舵切りが必要だと思えます。財政難はどの自治体もそう変わらないですし、既存の建物や仕組みを活用するなどやりようはあると思います。最小限の予算で最大の効果が出せるよう、町も議会も知恵を絞って議論を重ねてほしいと願います。

## 長和町議会議員から 町民の皆様へ

議会から町民の皆様へのお知らせや議員の思いなどを掲載しています。第73号は、**小川純夫** 議員です。

▼この号が出る頃は新年を迎え新年度予算査定の中に入で羽田町長の公約を如何に実現すべきか。悩みも大なるものがあると思われされる。▼議会の責務は何か。提案された案件を承認するだけでは負託に答えていない。議員に提案権があるとはいえ、これまでほとんど皆無。行政能力や予算の執行権が無い現状では、不可能かも。▼議会は合議制なので、少数意見は留保されにくい。議員間の討論や意思疎通が欠かせない。かつて、古老から、「知恵のある者は、知恵を出せ。知恵の無い者は金を出せ。金のない者は、ズクを出せ」と言われた。又、「評論家は要らぬ。共に汗を流せ」とも。時々、思い出す。

## ながわまち 議会だより

広報広聴常任委員会

委員長 羽田 公夫  
委員 龍野 一幸  
佐藤 恵一  
田福 光規  
渡辺 久人  
編集 森田 公明

■ 町政や議会、「議会だより」に関するご意見や感想をお寄せ下さい。

■ 長和町議会事務局 〒386-0603 長野県小県郡長和町古町 4247-1

電話：0268-75-2059 / FAX：0268-68-4139 / メール：gikai@town.nagawa.nagano.jp